

年頭恒例行事「2026年迎春会」を盛大に開催！

2026年1月23日（金）、帝国ホテル東京「孔雀西の間」にて、一般社団法人日本中華總商會年頭恒例行事「2026年迎春会」を盛大に開催いたしました。会場には、会員・関係者に加え、在日中日関係団体、政財界、メディア関係者など総勢350名が一堂に会し、新春を寿ぎました。

開会にあたり、蕭敬如会長より歓迎のご挨拶が述べられました。蕭会長は、新しい一年に向け「交流の原点」を大切にしながらも、馬年の「前進・飛躍」の精神を胸に、さらなる共通認識と結束を深めていく旨を語りました。あわせて、今後の重点として、①会員相互の交流と協力の深化、②世界華商ネットワークの継続的拡充、③青年華商の育成・参画の一層の推進——の3点を掲げ、当会の活動を新たな高みへと押し上げていく決意を表明しました。



- 蕭敬如 会長 歓迎挨拶

続いて、鏡開きが行われ、評議員会厳浩会長より祝酒のご発声をいただき、会場は一層華やかな雰囲気に包まれ、歓談や名刺交換を中心とした交流が活発に行われました。当日は、中国駐日本大使館、日本の関係省庁（経済産業省・外務省）関係者をはじめ、日本能率協会、日中経済協会、日本国際貿易促進協会、在日中国企業協会、全日本華僑華人社団聯合会、日本華僑華人聯合総会、東京華僑総会等の関係団体より多数のご来賓をお迎えし、温かいご祝辞を頂戴いたしました。



- 鏡開きの様子



• 厳浩 評議員会会長 祝酒挨拶

余興として、日本舞踊「連獅子」の上演やピアノ弾き語りの演奏が披露され、伝統と華やぎに満ちた新春にふさわしい演出が、会場の一体感をさらに高めました。閉会に際しては、常務副会長 船津康次より中締めのご挨拶があり、参加者一同、来る一年の更なる交流と発展を誓い合いました。最後に記念写真撮影を行い、盛会のうちに閉会いたしました。（進行：孔怡事務局長）



- 日本舞踊「連獅子」



- ピアノ弾き語り演奏



・会場の歓談風景



・記念集合写真

本迎春会の開催にあたり、ご参加・ご協力を賜りました皆さんに、改めて厚く御礼申し上げます。当会は今後も、在日華商の結束を強めるとともに、世界華商ネットワークとの交流を深化させ、世界華商大会等への参画や各種交流事業を通じて、会員企業の海外展開とビジネス機会の創出と日中両国の経済・文化交流の発展に貢献してまいります。

日本中華總商會 事務局

2026 年 1 月 26 日